

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ワールドファーム鳥取工場	階数	地上1F
建設地	鳥取県倉吉市関金町関金宿141番地	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	35人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,530時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2016年1月20日
敷地面積	15,823 m ²	作成者	木下奈津子
建築面積	2,727 m ²	確認日	2015年1月20日
延床面積	2,668 m ²	確認者	浦川英敏

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 94%
③上記+②以外の 94%
④上記+ 94%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
エネルギー負荷の少ない建物として計画した	0
Q1 室内環境 内壁に不断熱材、その他はグラスウール敷設とし、室内温度負荷の軽減を行った	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地・空地を確保し、通風及び周囲への威圧感軽減に配慮した計画とした
LR1 エネルギー 省エネルギー機器を使用し総合的な省エネルギー対策を行った	LR3 敷地外環境 ゆとりある配置計画とし、通風・駐車場について近隣の迷惑とならないよう配慮した
Q2 サービス性能 メンテナンスに手間の掛からない高耐久性の建材を使用した	
LR2 資源・マテリアル ハロン消火器を使用しない	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される